

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ケアハイイツいたみ2号館	階数	地上3F
建設地	兵庫県伊丹市中野北4丁目17-3	構造	木造
用途地域	第一種中高層住居専用地域 22条指定地域	平均居住人員	51人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年3月10日
敷地面積	3,770㎡	作成者	(株)松田平田設計
建築面積	722㎡	確認日	
延床面積	2,270㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

① 参照値 100%
② 建築物の取組み 77%
③ 上記+②以外の 77%
④ 上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 地域に根ざしたケアを実現する家をコンセプトとし、安全性、居住性、機能性の高い施設づくりに配慮した。 ●安全性: 耐火木造を採用し、福祉避難所として利用できる安全・安心な施設計画●居住性: 園路のある外構計画とし、庭を感じる自宅のような安らぎある居室計画●機能性: 介護者動線に配慮したコンパクトで見通しの良い平面計画		その他 特になし
Q1 室内環境 各室をルームエアコンにて空調を行うことで、入居者のニーズに合わせて空調の設定を行うことができる計画とした。居室トイレ用の天井扇に加え、全熱交換器を設け、冬季冷風が入ることを防止。ヒートショックが起こりにくい様に配慮した。	Q2 サービス性能 災害時に最低限の空調・換気設備を運転できるように非常用発電機を設置。重要度係数1.25を採用し、耐震性能の向上を図った	Q3 室外環境(敷地内) 地域に親しまれる外観・外構計画をコンセプトとした ●建物高さを抑え、周辺の田畑への日照を確保●伊丹の酒蔵通りをはじめる蔵のたたずまい、切妻屋根の形状を継承した構成●伊丹市の木ノスキをシンボルツリーとした潤いある緑地の確保
LR1 エネルギー 給湯は中央式の電気給湯システムを採用し、高効率ルームエアコン、全熱交換器の使用、LED照明の設置により消費エネルギーを削減した。	LR2 資源・マテリアル 節水設備として、便音装置を設置。冷媒にはオゾン層破壊係数0のものを採用。	LR3 敷地外環境 ●雨水抑制対策として、敷地内に雨水貯留槽、雨水浸透槽を計画 ●周辺道路の渋滞、路上駐車抑制対策として適切な量の駐車、駐輪スペースを確保・災害時の福祉避難所として地域に貢献できるように広くエントランス空間及び広場を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される